

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応募者に関する情報

記入日： 2012年 11月 28日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) カブシキガイシャ エコマップ
	株式会社 ECOMAP  (団体名) ※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。
応募 担当者 連絡先	団体名： 株式会社 ECOMAP
	所在地： 〒902-0064 沖縄県那覇市寄宮1丁目3-1-22
	部署名：
	役職名： 取締役 CEO
	氏名： 三輪 範史
	TEL： 098-894-3696      FAX： 098-894-7017
	E-Mail： info@ecomap.co.jp
ホームページ	<a href="http://www.ecomap.co.jp/index.html">http://www.ecomap.co.jp/index.html</a>
<p><b>応募団体の主たる事業</b>（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>株式会社 ECOMAP は、化粧品の OEM 製造及び沖縄アロマ関連の製造販売をおこなっています。</p> <p>■化粧品の製造及び OEM の製造</p> <p>株式会社 ECOMAP は農学博士による沖縄の植物を利用した化粧品の開発を行っています。石鹸、化粧水、保湿クリーム等、自社の開発チームがお客様の声を聞き、丁寧にアドバイスをしています。</p> <p>■アロマ基材の製造</p> <p>専属のアロマアドバイザーと、化粧品の専門家によるコラボレーションで、様々な製品をご提案しています。</p> <p>■生活雑貨の製造及び OEM の製造</p> <p>天然素材を活用した消臭芳香剤や、生活害虫忌避材の開発を行っています。沖縄には防虫忌避力の高い月桃があり、この精油を活用し様々な製品を生み出しています。2010年に開発されたピュアシャワーは1年で2万本の販売実績があります。</p> <p>■北大東村月桃加工施設の運営</p> <p>北大東村にある月桃加工施設の運営を受託しています。月桃精油及び月桃繊維の原料を製造しています。</p>	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

沖縄県北大東島発・カーボンオフセット商品販売

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

[http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki\\_jun.pdf](http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf)

##### <カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

対象：ピュアシャワー(除菌消臭芳香剤)・月桃葉潤水(化粧水)【別添資料1参照】

バウンダリ：上記商品の容器 17,000 個を廃棄処分する際に発生する CO2

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

2012年9月より販売開始。

カーボンオフセット対象の個数である 17,000 本が販売完了次第、新たにクレジットを調達し、追加的にカーボンオフセットを実施する予定です。

##### <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

- 第36回沖縄の産業まつり[平成24年10月26日(金)・27日(土)・28日(日)]  
自社のブースを出し、「沖縄地域国内クレジット」のロゴを掲示し商品の紹介、販売を実施。  
<http://www.okikouren.or.jp/36maturi/36pamphlet.pdf>

### 3. 1次審査項目

#### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

##### (自己活動オフセット支援以外の場合)

##### ①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

ピュアシャワー(芳香剤)・月桃葉潤水(化粧水)の容器17,000個を廃棄処分する際に発生するCO<sub>2</sub>を算出。  
総排出量は2,199.38kg-CO<sub>2</sub>となる。

算定方法、排出係数については以下を参照した。

- ・環境省：カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定方法ガイドライン (Ver. 2.0)
- ・経済産業省：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための 排出原単位データベース

##### ①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

容器の個数、容器一本あたりの重量

#### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO<sub>2</sub> 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電     節水     廃棄物の減量化     省電力機器の導入     公共交通機関の利用・呼びかけ  
 その他(具体的に )

#### ③オフセットの手続き

##### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。【例】J-VER(O%)、CER等(Δ%)など

国内クレジット：3 t-CO<sub>2</sub>

##### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

排出権創出事業者：国立大学法人琉球大学

削減事業：大学における照明設備の更新(LED化)・太陽光発電設備の導入、変圧器の更新

排出権識別番号：00353-96~00353-98

##### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

2012年11月9日付けにて償却済み

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

株式会社 ECOMAP の原料工場は沖縄県北大東島に有ります。北大東島は那覇市から 360km 東に位置する太平洋に浮かぶ大洋島で、人口 500 人程が生活をしています。

この工場では、収穫された月桃（月桃とはショウガ科の植物）を原料に製品を開発しています。月桃の葉からはエキス、茎からは繊維を取り、様々な製品に利用しています。この際、収穫した作物は埃の一粒まで利用する工夫しており、ゴミとなった月桃の廃棄物は有機肥料工場へ運び発酵させて、再度畑に戻しています。この原料を利用し、二次加工品として「ピュアシャワー」が開発されています。

このように、島内で栽培される月桃を原料として使用することで、調達に係る輸送分の CO2 排出量を削減しています。また、月桃の搾りかすは再度畑に戻し、土に戻すことで、処分による CO2 排出量が削減される工夫をしています。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

北大東島の原料工場へは、来島するだけでも飛行機や船を乗り継ぐ必要があり、どうしても CO2 排出量は増えてしまいます。そのような環境があるため、島での CO2 排出量を削減する活動は重要であり、周囲の緑や海といった大自然を守ることもつながります。

そして、地元琉球大学が創出したクレジットを用いることで、クレジットの「地産地消」を進め、クレジット購入資金の地元還流を実現する取り組みとなっています。

現在、カーボンオフセットを実施している商品はピュアシャワー（芳香剤）と月桃葉潤水（化粧水）合わせて 17,000 本だけですが、カーボンオフセットの実施により販売数の増加が見られ、他の競合商品との差別化が有効であると判断できれば、今後もカーボンオフセットを継続的に実施し、さらにオフセットの対象となる商品を拡大していく予定です。

### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

現在、沖縄県内で実施されるのカーボンオフセットには、沖縄県総合事務局が県内の学生より募集した「沖縄地域国内クレジット」ロゴマークが付与されています。すでにこのロゴマークが付与されているカーボンオフセットの件数は、2ヶ月で10件ほど存在します。今回の取り組みであるビュアシャワーと月桃葉潤水にもこのロゴマークが付与されており、商品へのロゴマーク付与は沖縄で初の取り組みです。引き続き、このオフセット商品を販売していくことで、沖縄地域でのカーボンオフセット認知度向上に貢献していきます。

また、沖縄県内では、健康食品、化粧品、石けんなど、月桃を用いた商品が溢れており、他の商品との差別化が難しいという状況がありました。しかし、カーボンオフセットに組み込み、沖縄独自のロゴマークを商品に付与できたことで、他の月桃商品と差別化を図ることができました。さらに、自然に囲まれている沖縄の環境に良いというイメージを、オフセット実施によりそのまま商品に表すことが可能となりました。これを機に月桃商品の需要が拡大することで、北大東島での雇用および経済波及を拡大し、沖縄県内の地場産業振興に貢献していきます。

### 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

今回のカーボンオフセットの普及啓発を図るために工夫した取り組みは、以下2点があります。

#### ■沖縄地域国内クレジットロゴの利用

上記、3.に於いても述べておりますが、今回のカーボンオフセット商品には、沖縄地域国内クレジットロゴが付与されています。このロゴは、沖縄県でのカーボンオフセットに対して与えられるもので、沖縄県総合事務局が、県内の学生に対して公募を実施し、その中から採択されたマークです（専修学校インターナショナルデザインアカデミー 山城あずささんの作品）。このように、沖縄の学生のアイデアから生まれたマークを使用することで、地域の学生を巻き込んだカーボンオフセットの取り組みに発展しています。

現在、このロゴマークが付与された商品はビュアシャワーと月桃葉潤水が初です。今後、販売を通してロゴマークの認知度向上に貢献し、沖縄でのカーボンオフセット商品が今後増加していくよう、普及に取り組んでいきます。

#### ■第36回沖縄の産業まつり[平成24年10月26日(金)・27日(土)・28日(日)]でのブース出展

沖縄県内で最大規模の産業まつりにおいて、株式会社 ECOMAP のブースを出展しました。産業まつりは、沖縄の物産を網羅したイベントで、231,900人の来場者規模を誇ります。この中でカーボンオフセット商品を広報、販売しました。お陰様でオフセット商品は完売となり、多くの人にカーボンオフセットの取り組みを目にして頂くことができました。また、沖縄産業まつりで排出されるCO2自体もカーボンオフセットされており、オフセット商品と合わせて、イベント会場のメイン入り口にて取り組みの紹介をして頂きました。株式会社 ECOMAP では、引き続き沖縄県内でのイベントには商品を出品し、カーボンオフセットの取り組みを広げる活動を行なっていきます。

## 5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

今回のカーボンオフセットの取組みが持つストーリー性は、以下の3点に集約されます。

■沖縄で生産される商品を、沖縄で創出されたクレジットでオフセットしたこと  
カーボンオフセットには、地元琉球大学のCO2削減活動によるクレジットを用いました。地元で生産される商品に地元のクレジットを付与するという、クレジットの「地産地消」を実現しています。

■オフセットのロゴとして、沖縄独自のマークを取り入れたこと  
3. 4. の項目にもある通り、沖縄独自のカーボンオフセットロゴマークを表示する事により、月桃商品市場での他商品との差別化を図り、商品のブランディングを進めました。

■沖縄最大の産業まつりに出展し商品を販売、完売したこと  
用いるクレジット、ロゴマークにこだわった商品を沖縄最大規模のまつりで売り切ったことで、他商品と比べ、市場の中で強い競争力をもつことが証明出来たと考えています。

以上の3点により、カーボンオフセットによるブランディングには、商品やクレジットの地域性でのつながり、ロゴマークの活用という消費者に分かりやすい方法でのPRが有効であるといえます。

今後、このカーボンオフセット商品を沖縄だけでなく東京などの都市部でも販売し、カーボンオフセットの普及啓発、商品市場での優位性を示していきます。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail [award@carbonoffset-network.jp](mailto:award@carbonoffset-network.jp)